

学年	高校3年	教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2
教科書名	書Ⅱ（光村図書）			副教材名	なし		
クラス・コース	スポーツ・芸能			担当者名	細井・笹野		

I. 目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

II. 授業のねらい

1. 書体、書風、意図に即した適切な用具・用材の選択力を身に付ける。
2. 臨書と鑑賞を通して表現を工夫し、個性的な表現ができるようにする。
3. 表現形式に応じて全体構成ができるようにする。
4. 書の美の諸要素を把握し、その表現効果について理解し、感受を深める。
5. 書の美と時代、風土、筆者などのかかわり、その表現方法や形式等について理解を深めること。
6. 日本及び中国等の書の歴史・文化と書の現代的意義について理解を深める。

III. 授業の進め方

1. 書の知識と実技について、全体説明と個人指導を行う。
2. 古典臨書を基にした創作の時間を適宜採り入れる。
3. 実用書と硬筆の練習を適宜採り入れる。

IV. 学習上の留意点

表現されたものの特性や歴史的な位置づけに関心を持ち、幅広い書の美を理解し、自己表現に役立つようにする。

V. 定期試験

通常の定期試験は実施せず、各単元終了時に実技試験を実施する。

VI. 評価の方法

授業内での提出作品、単元ごとの実技テスト、授業態度など。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	ガイダンス 1. 漢字の書 ・はじめに	作品提出 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・現代との用具用材の違い，甲骨や隸書の書かれた背景を理解して，工夫して臨書に取り組むことができる。 ・隸書の筆使いを理解し，文字の形を整えることができる。 ・隸書の学習を生かして楷書を書くことができる。また，楷書の諸相を理解して表現できる。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書の個性豊かな表情 ・篆・隸・草・楷を比べてみよう 		
	6	2. 文字の造形を学ぶ ① 隸書 ・基本用筆 ・「乙瑛碑」の臨書		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「曹全碑」の臨書 ・実技テスト 		
二学期	9	② 楷書 ・基本用筆 ・「薦季直表」の臨書 ・「爨宝子碑」の臨書	作品提出 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の筆使いを理解して，工夫して臨書に取り組むことができる。 ・日本の書を通して，中国文化と日本文化の違いを考える。 ・細字を書くことで小筆に慣れ，日常生活に取り入れることができる。 ・これまでに学習してきた古典の書風を生かし，漢字仮名交じりの書の創作に取り組むことができる。
	10	③ 篆書 ・基本用筆 ・「泰山刻石」の臨書 ・「甲骨文」の臨書		
	11	④ 行書 ・基本用筆 ・「集王聖教序」の臨書 ・「祭姪文稿」の臨書		
	12	3. 仮名の書 ・「高野切第二種」の臨書		
		4. 細字の学習 ・写経「般若心経」 5. 創作 ・漢字仮名交じりの書		

※ シラバスの内容については，理解度やその他の都合により変更することもあります